**深雪の相手は、恋人としても、妻としても、妹としても、達也以外に考えられない**
**もう１人のメインヒロイン、玲音は……怖すぎますし（笑）**

——佐島作品といえば、妹キャラ！　登場人物の中から、妹にしたい人を選んでいただけますか？

**佐島勤氏（以下、佐島）**：深雪のクラスメイト・北山雫でしょうか。クールに見えて情が深い女の子ですから。『ドウルマスターズ』のレア＝プティも妹キャラという意味では捨てがたいですね。2人ともいっしょにいて、うるさくないのがいいです。

——深雪が出てこなかったのには理由が……？

**佐島**：深雪の相手は達也以外に考えられなかったからです。彼女の相手は、恋人としても、妻としても、妹としても、達也以外に考えられない。もう1人のメインヒロイン、玲音は……怖すぎますし。

——『ドウルマスターズ』のエリートパイロット・玲音＝ウォード＝高城のことですね。彼女は怖いんですか？　第1巻を読むかぎりでは、お嬢様風のおとなしいヒロインに見えますが。

**佐島**：……穏やかに見えますでしょう？　ふだんはそうなんですけどね。でも、ちょっとまだ見せていない一面があるんです。私の発言の意味は、12月にリリースされる第2巻を読むと「このことか！」と理解していただけるかと。こういう子は遠くで見ている分にはいいですけど、近くでつき合うのはちょっと怖いなと思うので（笑）。

——しかし、主人公の早乙女養生が「ドキッ♡」みたいな感じになっていますね？

**佐島**：まさに「ドキッ！」みたいな感じにはなるんですけどね。はたして養生くんはどこで道を踏み外すのであろう（笑）。世の中に〝ヤンデレ〟という言葉がフィクションの世界を中心にありますけども、彼女はデレませんが、病んでいる部分があります。

——すごい事前情報が!!　ヒントになりますね？

**佐島**：たぶん、それだけでは本当のところはわからないと思いますので問題ないかと。いわゆる〝ヤンデレ〟とは、傾向というか方向性が違う……。

——すみません!!「これ以上はオフレコで！」と、担当編集さんがあわててこちらを見ていますので、次の質問へ移らせていただきます（笑）。本誌はアニメ好きの読者が読んでいる雑誌です。ご自身が大好きなアニメ作品を1つ教えてください。

**佐島**：まずは『マクロス7』ですね。娯楽に徹しているところが好きです。最近のアニメでは『翠星のガルガンティア』でしょうか。昔の作品では『スペースコブラ』。ダンディズムがよいですね。これはアニメというよりも、コミックスのほうで強い影響を受けたんじゃないかなと思います。本当にハードボイルドですよね。

——コブラも強い主人公ですね。司波達也など、やはり強い主人公へのこだわりがあるのでしょうか。

**佐島**：やっぱり、強い主人公のほうが見ていておもしろさを感じますよね。それに強い主人公といっても、コブラは苦境に陥った時、笑ってすませるというか、笑い飛ばすじゃないですか、その状況を。そういうところが、いい主人公だと思いますね。苦しいから血を流し、涙を流し、というのも燃える展開で、読んでいておもしろいんですけども。どちらが好きかといわれたら、コブラみたいに苦境を笑い飛ばして、走って、撃って……。自分の行動で未来を切り開いていく主人公が好きですね。

——では読書の秋ということで、佐島さんがオススメする電撃文庫作品を教えていただけますか？

**佐島**：ますは三雲岳斗先生の『アスラクライン』、川原礫先生の『ソードアート・オンライン』、鎌池和馬先生の『とある魔術の禁書目録』ですね。理由は「おもしろいから」としかいいようがありません。その作品が持っている特定の要素だけを取り出すと、かえってそのおもしろさを伝えることが困難になるというか、私が伝えたい意味とは違うふうに受け取られると思うんです。

——最後の質問になるのですが、多忙な佐島さんが10日間ほど休みをもらえたらなにをしますか？

**佐島**：取材旅行に行きます。

——宇宙へですか!!

**佐島**：行けませんよ（笑）。『魔法科』の舞台になった京都ですね。今は全然行けていないんです。その時間をどうやって捻出しようかなと悩んでいます。

——どんなに大変でも、作品を書きたいという熱意が湧いてくるのは、小説が好きだからでしょうか。

**佐島**：書くこと自体は大好きです。そうじゃないと続かないかな。書くのが嫌になった作家はいても、書くのが嫌いになる作家はいないと思うんです。

**取材旅行に行けなくても、どんなに忙しくても、書くこと自体は大好きです**
**書くのが嫌になった作家はいても、書くのが嫌いになる作家はいないと思うんです**

電撃文庫作家を直撃♪ 1

FIGHTING FAIR SPECIAL INTERVIEW

# 佐島勤（さとう つとむ）氏

TVアニメも大好評!!　累計発行部数530万部を越える人気作となった電撃文庫『魔法科高校の劣等生』シリーズの作者・佐島勤氏に直撃取材を敢行。キャラクターの魅力からオススメの文庫まで語ってもらったよ♪

PROFILE 小説投稿サイトで連載していた『魔法科高校の劣等生』が累計3000万PVを越える人気作となり、電撃文庫よりデビューを果たす。会社員と作家業を継続中。

**佐島勤氏が放つ最新シリーズ始動**

近未来宇宙に浮かぶ、人工天体都市の〝高校〟へ入学した人型機動兵器〝ドウル〟のパイロット・早乙女養生の学園ライフは——？

**大人気スクール・マギクス「魔法科高校の劣等生」シリーズ続々刊行中!!**

すべてを達観した劣等生の兄・司波達也と彼にひそかに慕う優等生の妹・深雪——。この2人を中心に、個性豊かな魔法師たちが所属する魔法科高校の学園生活を描く。最新刊第14巻が好評発売中だ。

▶最新刊は、電撃文庫『魔法科高校の劣等生14 古都内乱編〈上〉』。魔法師開発の歴史が生んだ因縁についに決着が!?

電撃文庫作家を直撃♪ 2

FIGHTING FAIR SPECIAL INTERVIEW

# 和ヶ原聡司（わがはら さとし）氏

第17回電撃小説大賞にて銀賞を受賞し、電撃文庫からリリースされた『はたらく魔王さま！』。今やTVアニメ化もされた人気シリーズとなった本作。最新刊の発売を記念して、作者の和ヶ原聡司氏を直撃です♪

PROFILE 役者を志していた時、能力に限界を感じ、今度は小説で自分自身を表現してみようと挑む。その努力が実を結び、第17回電撃小説大賞<銀賞>を受賞。

**上司にするなら、圧倒的にマグロナルド幡ヶ谷駅前店の敏腕店長・木崎真弓か**
**センタッキーフライドチキンの幡ヶ谷駅前店店長・猿江三月！**

——デビューからこれまでの執筆活動を振り返ってみていかがですか？　今の心境をお願いします。

**和ヶ原聡司氏（以下、和ヶ原）**：これまでずっと人と接する仕事ばかりしてきたのに、ほぼ人と接しない仕事になったので、たまに第17回受賞の同期の作家陣に会うと「会話の火加減がおかしい」といわれてしまうほどに、会話の距離感をつかめなくなりました。人と会った時にいらんことまでしゃべりすぎるのをなんとかしたい。それが最近の悩みです。

——魔王なのに優秀なフリーターという真奥が主人公ですが、和ヶ原さんなら登場するキャラクターの中で、誰を自分の上司にしたいですか？

**和ヶ原**：上司にするなら、圧倒的にマグロナルド幡ヶ谷駅前店の敏腕店長・木崎真弓か、センタッキーフライドチキン幡ヶ谷駅前店店長の猿江三月（大天使サリエル）。意識して書いたわけではありませんが、この2人は結果的に和ヶ原が想像する理想の上司となりました。木崎は本人が有能で、働き者で部下や職場環境にきちんと気を配れるという点で……。本名のサリエルではなく、日本で名乗っている猿江としたのは、彼は性格的に難がある人物ですが、センタッキーの店長として仕事だけはきちんとする人だから。猿江自身も仕事重視で生活している自覚があるので、他の人間も仕事さえしていればあとはなにをしていようとかまわない、というスタンスを自然と取っています。過干渉ないのはとても好印象。逆に魔王として、やがて世界を統べる存在を目指す真奥は管理しようとする対象があまりに巨大であるうえ、主人公であるが故にいまだ迷いの途上にあるので、理想にあと一歩というところで止まっています。彼はこれからも多くの人の影響を受けながら、自分の理想の王の姿を模索していくことでしょう。

——和ヶ原さんにとって、ご自身が生み出したキャラクターたちはどんな存在ですか？

**和ヶ原**：俺が知らないだけで彼らはどっかにいる。多分。

——では次の質問です。読書の秋ということで、和ヶ原さんが最近読んだオススメの電撃文庫作品を1つ教えていただけますか？

**和ヶ原**：『給食争奪戦』（著・アズミ）です。椅子や机が床を滑る音。古びたワックスの臭い。放課後、昇降口を出た瞬間の夕方前の空の色と空気。読んでいるとそんな記憶がまざまざと蘇るすばらしい1冊でした。子供は、自分が子供だったころはすべてに必死で、たくさんのことを考えていたことを思い出しました。ぜひ子供を持つ親、大人にこそ、この本を読んでほしいと思います。

——お話は変わりますが、Gsマガジンはアニメ好きの読者がたくさん読んでいる雑誌です。ご自身が影響を受けたアニメ作品を1つ教えてください。

**和ヶ原**：『北斗の拳』で〝強い男は恰好いい〟を学びました。『魔王さま！』に直接及ぼした影響は後ろで見ていた母の「この人は毎回破った服をどこで買ってるんだろう、三越かね」というひと言です。

——えっ！　老舗デパートの三越……ですか？

**和ヶ原**：そうです。その言葉は時を越えて『はたらく魔王さま！』のリアリティーを支える1つの柱になりました。でも母ちゃん、小2の息子にそんな醒めることというなよ三越ってなんやねん。

——今やその三越でも売っている『はたらく魔王さま！』ですが、最新作が好評発売中です。ご自身が考える本作の見どころ教えてください。

**和ヶ原**：『はたらく魔王さま！0』の見どころは、日本の生活からはまったく想像できないルシフェルやアルシエルの悪魔的素顔……といいたいところなのですが、個人的に一番ノリにのっていたのは『正義のオルバ』です。作品全編を通して徹底して悪役であるオルバが、若者たちのよき先達であったころが描けてとても楽しい回でした。そして過去の魔界編も正義のオルバ編も、ここから今に至るまでいったいどんなことがあったのかを、お手に取ってください。さった方にあれこれ想像していただければ幸いです。

——最後に読者へメッセージをお願いいたします。

**和ヶ原**：変わらないようで変わってゆく真奥たちの日常がどこまで続くのか、もう和ヶ原にも想像がつきません。読者のみなさまが待っていてくださるかぎり、逆に真奥貞夫の夢が達せられることはないんじゃないかと思えてきました。今後とも『はたらく魔王さま！』がみなさまの本棚を順調なペースで侵略していければ幸いでございます。

**ケンシロウを見た母が「この人は毎回破った服をどこで買ってるんだろう、三越かね」と**
**その言葉は時を越えて『はたらく魔王さま！』のリアリティーを支える柱になりました**

**貧乏な魔王がフリーター生活!?**
**『はたらく魔王さま!』シリーズ**
**最新刊は少年時代のお話♪**

異世界エンテ・イスラの征服に失敗した魔王サタンは、勇者のエミリアに追われてゲートで脱出!!　流れ着いた先は、東京の笹塚だった。魔力も底を尽き、元の世界へも戻れないサタンと腹心のアルシエルは、六畳一間のアパートを仮の魔王城に決定。名も真奥貞夫と芦屋四郎に改め、日々の糧を得るためにフリーターになったのだが……。爆笑必至の惨状に、勇者が遊佐恵美と名乗って現れるドタバタの追い打ち感もイイ!!　たくさん笑って、ちょっと泣ける庶民派ファンタジー、ここにあり?

◀この赤髪の美少女が遊佐恵美（エミリア）。最初は日本でも真奥の命を狙っていたけど、彼が意外に懐の深い男だと知り、態度が変化して!?

▶少年魔王時代の活躍が描かれる、最新刊『はたらく魔王さま！0』。